# まちゃまめ新聞

令和6年8月
中央小学校
2年1組
岡本壮史

## 松江のお茶と和菓子を知ろう!!

まっちゃのまちゃまちゃです!

あずきのまめまめです!

松江はお茶と和菓子がゆう名です。七代目おとのさまの松平ふまいこうさんが、大好きで、おいしいお茶と和菓子がたくさん作られたからです。

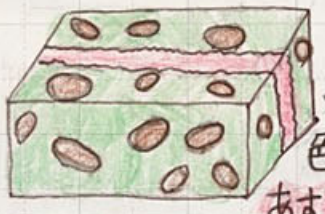
ぼくは、まっ茶と和菓子が大好きだから、夏休みに松江のお茶と和菓子について、しらべたり、体けんしたりしました。

## ぼくの大好きな松江の和菓子

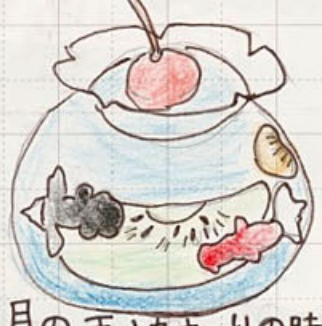
### ①花けしき(三英堂)

おいしい!

カルカンの生地にあずきをちらして、お花をイメージしている。色あざやかで、あずきがおいしい。



### ②金魚ばち(桂月堂)



7月の天神まつりの時だけうっている。金魚はあんこ。ゼリーとくだものがおいしい。

### ③朝しお(風流堂)

じねんじょをすりつぶして、生地につかっている。あずきのかわをとった「かわむきあん」がおいしい。

## 和菓子作りにちょうせん!

彩雲堂の和菓子しょく人さんに生菓子作りを教えてもらったよ。

ひまわり(ねりきり)

金魚(きんとん)

### 1回目(7月22日)自宅こうみかん

☆ひまわりに三角べらで七切りこみを入れるのと、金魚のそぼろをおはしであん玉にくっつけるのがむずかしかった。

☆うまくできなくて、くやしかった。

### 2回目(8月6日)彩雲堂プルイ黒田店

☆リベンジした!二回目は、うまくできてうれしかった。

☆こつは、あんこがくっつかないように、手とどうぐをぬれたタオルでしめらせておくこと!

彩雲堂の名工・大江さんにしつもんしたよ

和菓子のやつてつけていますか。

人工のちゃくを作っています。

自ぜんの色はどうやって色りますか。

一番むずかしいことは何ですか。

あずきをたくことで、たき方がかわります。

おんどとしつどで、あんこは和菓子のいのち!!

## 浜田のおばあちゃんにあんこ作りを教えてもらったよ!!

### ☆あずきのたき方

①あずきを水にひたす。

②にる→あくをとる→水をかえる。

③あつ力なべでにて、あずきがやわらかくなったら、さとうを入れる。

④時どきやさしくませて、にる。

⑤しおを少し入れる。

⑥水がなくなるまでにる。

できたあんこでしばもち(まき)を作ったよ。サルトリイバラのはっぱをつかったよ。

## 中村茶ほの茶室でまっ茶体けんをしたよ

時どき家でもまっ茶を立ててのむけど、茶室でのむのは、はじめてだった。ちょっときんちょうしたけど、たのしかった!

茶室は、たたみ、しょうじのまど、かけじく、茶がま、ひしゃくなどがあって、むかしのふんいきだった。

おいしすぎて、3回おかわりした!

和菓子は三英堂の「朝の花」(あさがお)

## さんこうにした本

『和菓子のほん』中山けい子・文(福音かん書店)

『あずき』あらいまき・作(福音かん書店)

## かんそう

お茶と和菓子のことがよく分かってもっと好きになりました。

中村茶ほ、彩雲堂、三英堂、桂月堂、風流堂のみなさん、ぼくのおばあちゃん、ありがとうございました。みんなやさしくて、うれしかったです。